

全国学力・学習状況調査の 分析結果を 公表します

Part 1

今 年度の全国学力・学習状況調査は、すべての公立学校が参加して実施されました。小学校6年生と中学校3年生が国語と算数・数学の2教科において、基礎的知識を問う「A問題」と知識を活用する力をみる「B問題」にそれぞれ取り組みました。

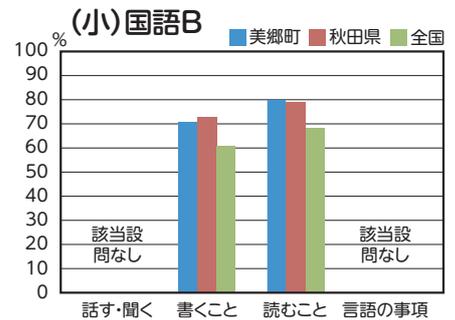
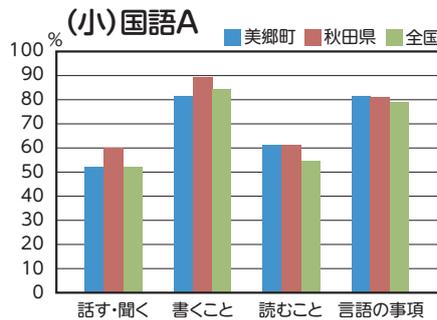
また、今年度は「知識」と「活用」を合わせた内容で理科の調査も実施しました。

それらの分析結果をまとめましたので、その概要をお知らせします。なお、子どもたちの生活・学習習慣等を調査した質問紙調査の結果概要は、次回広報11月号に掲載します。

学力調査の結果概要

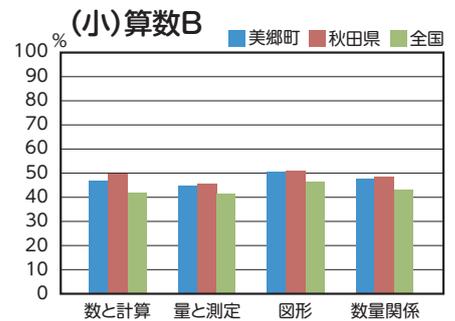
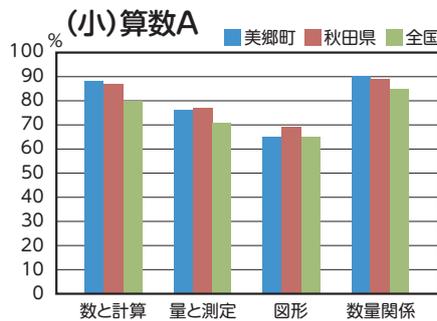
1. 小学校【国語】

国語A・Bともに「読むこと」の平均正答率は、県平均正答率を上回るか同等の数値で良好です。また、国語A・Bともに「書くこと」の平均正答率は、県平均正答率を下回り、課題といえます。「書くこと」は昨年度も課題の領域であり、今後もその克服に向けた取組が必要です。加えて国語Aの「話す・聞く」も県平均正答率を下回り、課題であると捉えています。



2. 小学校【算数】

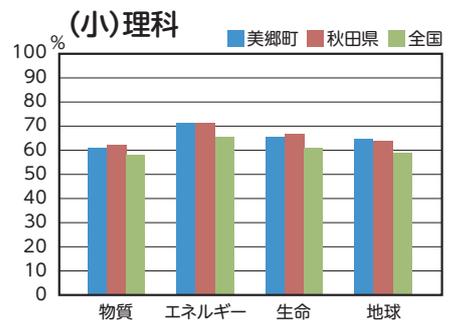
算数Aは、「数と計算」「数量関係」の2領域で県平均正答率を上回り良好です。一方、算数Bでは各領域で県平均正答率を下回り、課題といえます。「量と測定」「図形」の領域は、算数Aでも県平均正答率を下回り、重点的な課題として今後もその克服に向けた取組を進めていくことが必要です。さまざまな図形の性質を理解し、それらを活用していく力の伸長が求められています。



3. 小学校【理科】

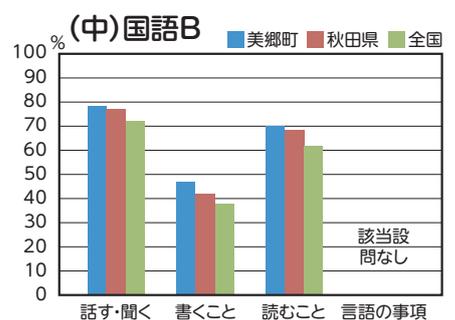
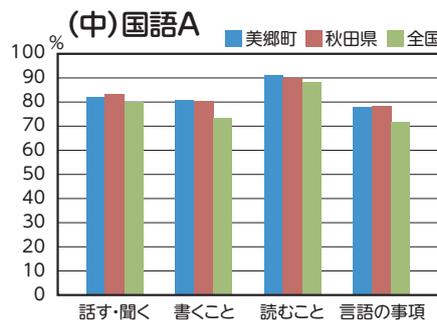
理科は、「エネルギー」「地球」の領域で県平均正答率を上回り良好です。一方、「物質」「生命」の領域は県平均正答率を下回り、課題といえます。

また、「知識」に関する問題では県平均正答率を上回っていますが、「活用」に関する問題では県平均正答率を若干下回っています。基礎的な知識を土台として、科学的な思考力や表現力を伸ばしていくことが今後の課題であると捉えています。



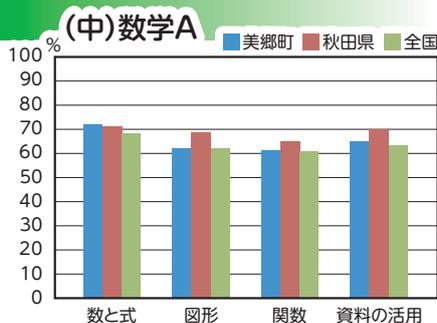
4. 中学校【国語】

国語Aは、「書くこと」「読むこと」の2領域で県平均正答率を上回り良好です。また、国語Bでは全ての領域で県平均正答率を上回り良好です。国語Aの「話す・聞く」で県平均正答率を若干下回っていますが、総合的にみて国語の「知識」と「活用」とともに良好な状態であると捉えています。「話す・聞く」の基礎的な力をさらに伸ばすことによって、全体的な力の伸びが期待できます。

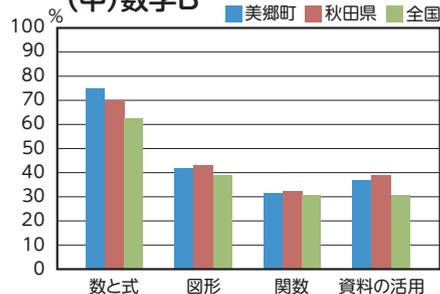


5. 中学校【数学】

数学A・Bともに、「数と式」の領域で県平均正答率を上回り良好です。一方、「図形」「関数」「資料の活用」の3領域で県平均正答率を下回り、課題といえます。「図形」「関数」「資料の活用」に関する基礎的な知識・技能の定着を図り、それらを問題の解決に活用していく力の伸長が求められています。



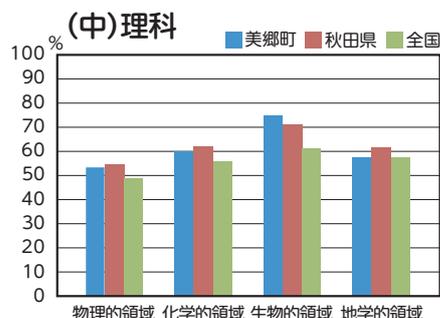
(中)数学B



6. 中学校【理科】

理科は、「生物的領域」で県平均正答率を上回り良好です。一方、「物理的領域」「化学的領域」「地学的領域」は県平均正答率を若干下回り、課題といえます。

また、「知識」と「活用」に関しては、県平均正答率に対して小学校と同様の傾向が見られます。基礎的な知識を活用して、事象を科学的に思考したり表現したりする力を伸ばしていくことが今後の課題であると捉えています。



総評

各校では、4月の調査終了時に調査結果を自校採点で把握し、課題の克服に向けて、すでに指導の改善に取り組んでいます。今回の調査結果を踏まえて、子どもたち一人ひとりの学力の向上に向けてさらなる指導の充実を図っていきます。調査結果の分析において、県平均との比較では若干下回っている科目・領域があり、課題と捉えています。過年度と比較して算数・数学が伸びを見せており、県平均とほぼ同程度の水準となっ

ています。

子どもたちの頑張り、各校の指導の改善への取組、保護者・地域の皆さまのご理解とご協力が相まって、このような結果につながってきているものと捉えています。

各教科の基礎的な「知識」の定着を図り、思考力や表現力等「活用」する力の伸長を図っていくことを今後も課題として、継続した取組を進めていきます。

問い合わせ●町教育委員会 教育推進課 ☎0187(84)1112



▲東北大学、東京大学、立教大学、埼玉大学、千葉大学、国学院大学、日本医科大学相撲部による合同合宿の様子。合宿中には時間を割いて美郷中学校の指導も行ってくださいました。

美郷町宿泊交流館 ワクアスをご利用ください

4月1日のオープン以来「美郷町宿泊交流館ワクアス」は合宿や、観光などさまざまな場面で宿泊できる施設として、好評をいただいています。

特に夏休みのシーズンでは複数の大学の相撲部による合同合宿や、首都大学の調査の一環、スポーツ少年団の合宿や大会などたくさんの方々に利用していただきました。

町では合宿で美郷町宿泊交流館ワクアスに宿泊する団体に対して、食事代の一部を補助しています。

スポーツ・文化を問わず、合宿等を予定している部活動、クラブ、各種団体の皆さんは、ぜひ美郷町宿泊交流館ワクアスをご利用ください。

■補助対象条件

- ・美郷町内のスポーツ・文化施設を利用し、美郷町宿泊交流館ワクアスに宿泊する団体。
- ・一回の合宿の延べ宿泊数(参加人数×宿泊日数)が10泊以上であること。

■補助金額

- ・補助率1/2 (1人1泊1,000円を上限とする)

その他申請方法等詳細は下記までお問い合わせください。

お問い合わせ

町教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興班
(総合体育館リリオス内) ☎0187(84)4916
宿泊交流館ワクアス ☎0187(88)8870